

SHIMA
SHIMA PRODUCT

シルバーカー マーチ

〔取扱説明書〕 〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
⚠️ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。（手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。）
使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し購入されることをお勧めします。
なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目次

警告事項・・・・・・・・・・	1	ブレーキの調整方法・・・・・・・・	5
注意事項・・・・・・・・・・	1~2	キャスターの操作方法・・・・・・・・	5
各部の名称・・・・・・・・・・	3	腰掛け方・・・・・・・・・・	6
車体のひろげ方・・・・・・・・	4	バッグの使い方・・・・・・・・・・	6
車体の折りたたみ方・・・・・・・・	4	傘止めバンドの使い方・・・・・・・・	6
駐車用ストッパの操作方法・・・・	4	故障かなと思ったら・・・・・・・・	6
ハンドルの高さ調節・・・・・・・・	5	保証書・・・・・・・・・・	7
ハンドブレーキの操作方法・・・・	5	SGマーク・・・・・・・・・・	7

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組み立ておよび調整は確実に行ってください。
- 使用される前に必ず左右の固定用ロックが確実にかかっているか確認をしてください。
固定用ロックがかかっていないと車体が折りたたまれる恐れがあり大変危険です。
- 車体を片手で押して使用しないでください。(傘を持ちながら等)
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり、荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は左右両輪に駐車用ストッパをかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、車輪およびブレーキストッパの摩耗、車体を押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。

※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は 100kg です。ご使用される方の体重が 100kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 10kg です。10kg を超える荷物は載せないでください。
- バッグ以外のところに荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたままで押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- 荷物はバッグ内の底部に収納してください。
- バッグ内に荷物を入れたまま、車体の組み立て・折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔かい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長時間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、日陰の場所で保存してください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、回転および車体の組み立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口、消火器、消火栓の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部（車輪およびブレーキなど）の破損、緩み、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどが緩んでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

マーチA 材質：アルミ

使用時サイズ：

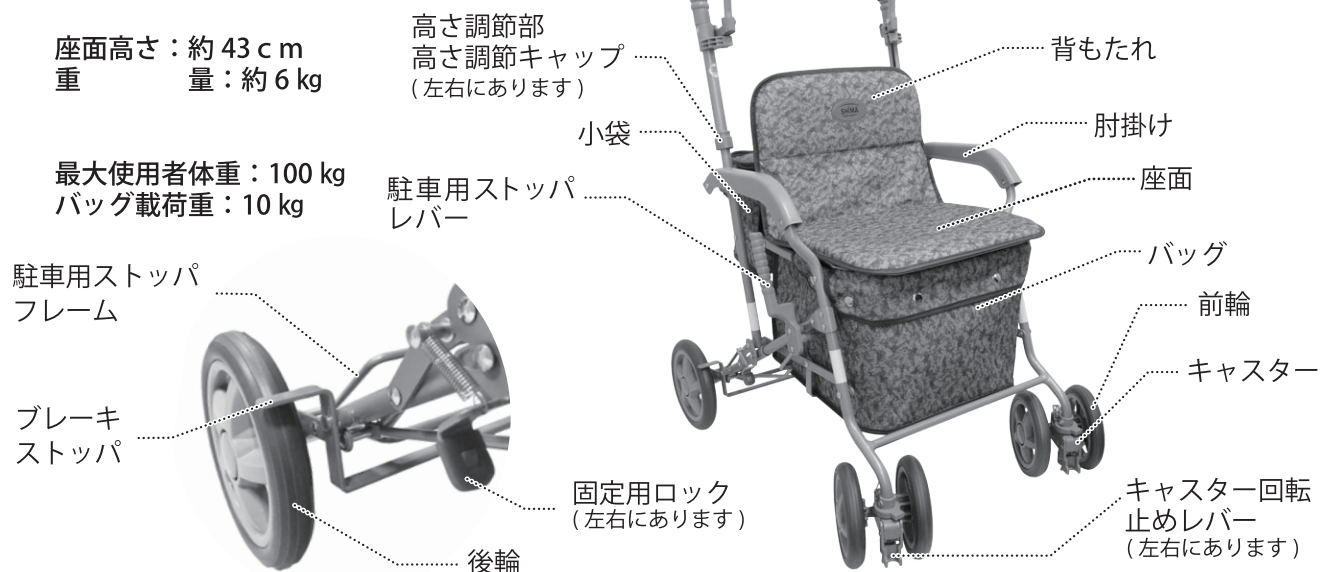
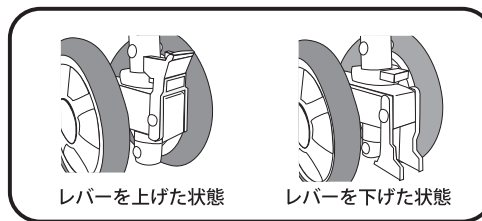
約 H84 ~ 93 × W50 × ①D66 ・ ②D65 cm
 (①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
 (②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

収納時サイズ：

約 H82 × W50 × ①D24 ・ ②D22 cm
 (①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
 (②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

座面高さ：約 43 cm
 重 量：約 6 kg

最大使用者体重：100 kg
 バッグ載荷重：10 kg



マーチS 材質：スチール

使用時サイズ：

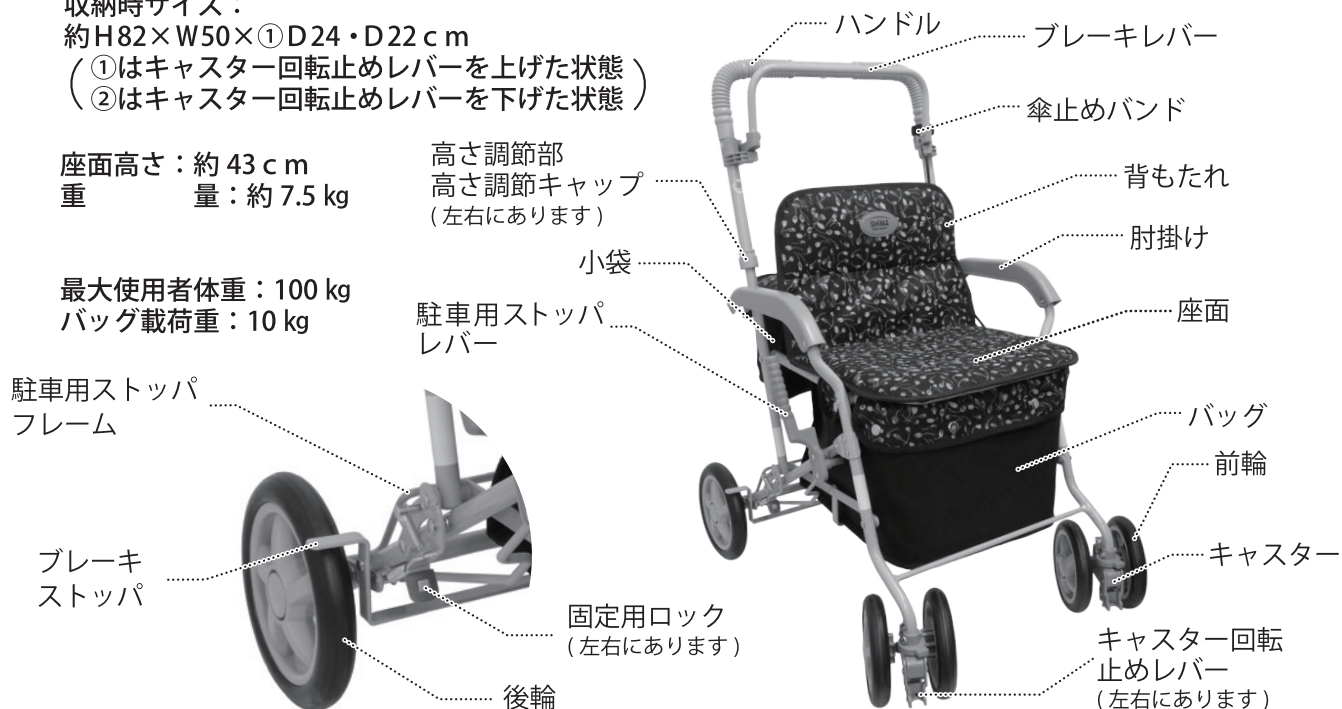
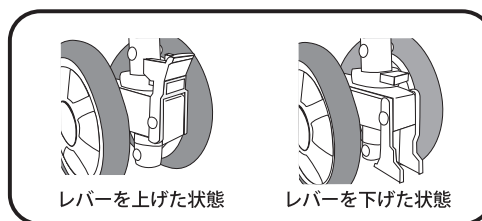
約 H84 ~ 93 × W50 × ①D66 ・ D65 cm
 (①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
 (②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

収納時サイズ：

約 H82 × W50 × ①D24 ・ D22 cm
 (①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
 (②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

座面高さ：約 43 cm
 重 量：約 7.5 kg

最大使用者体重：100 kg
 バッグ載荷重：10 kg

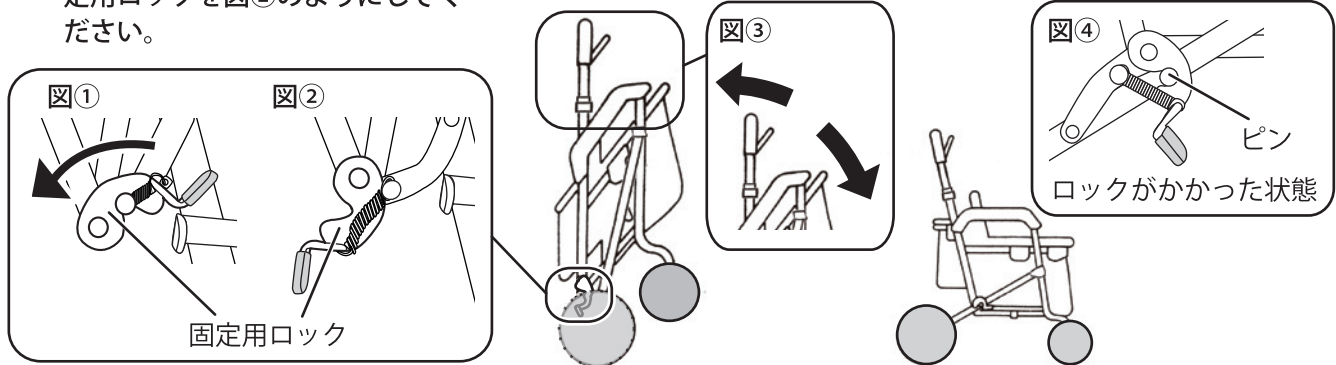


車体のひろげ方

1. 左右にある固定用ロックが図①のようになっていれば、図②を参照して、矢印の方向に押しきり、固定用ロックを図②のようにしてください。

2. ハンドルと座面を図③を参照しての矢印の方向にひろげてください。

3. 左右の固定用ロックをピンに確実にかけてください。
(図④参照)

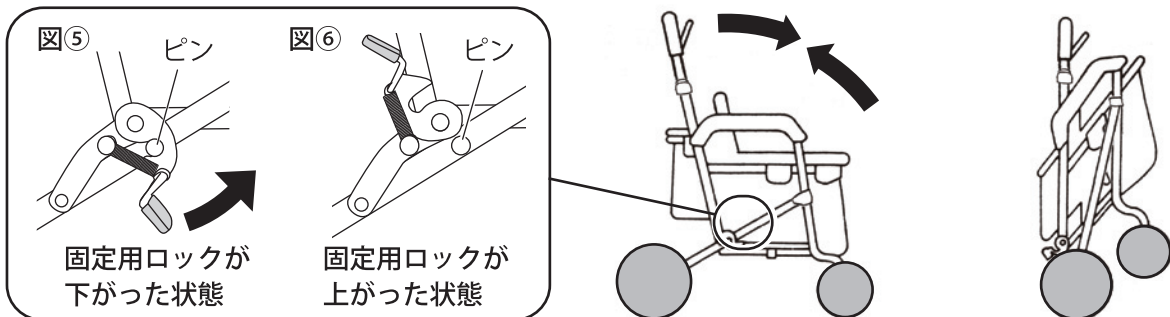


- 注**
- バネの跳ね返りに注意してください。バネの跳ね返りで指に固定用ロックが当たる場合があります。
 - ブレーキワイヤーなどが引っかかり広がらない場合がありますので注意してください。
 - 車体をひろげた後、左右の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください。(図④を参照) かかっていると、不意に折りたたまれ転倒することがあり、大変危険です。
 - 車体を間違った状態でひろげてしまった場合、固定用ロックを触らずに、車体を折りたたんだ後、車体のひろげ方を1からやり直してください。

車体の折りたたみ方

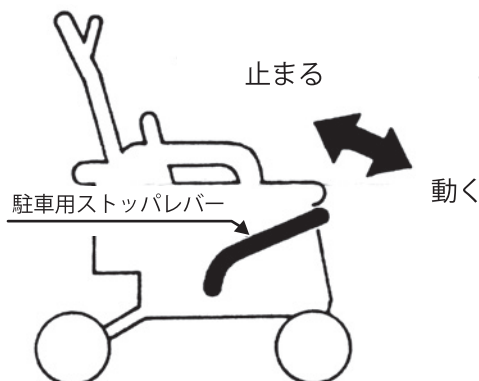
1. 左右の固定用ロックを上げて、ピンからはずします。(図⑤の状態から図⑥の状態にしてください)

2. ハンドルと座面の2カ所を持って、内側にはさみ込むように折りたたみます。



- 注**
- バネの跳ね返りに注意してください。バネの跳ね返りで指に固定用ロックが当たる場合があります。
 - バッグ、小袋に物を入れたまま折りたたまないでください。
 - 指をはさむ危険がありますので、肘掛けを持ったまま閉じないでください。折りたたまれる際に、固定用ロックが図⑤の状態でない場合は間違ったひろげ方をされています。固定用ロックを触らず、そのまま2.を参照に車体を折りたたんでください。

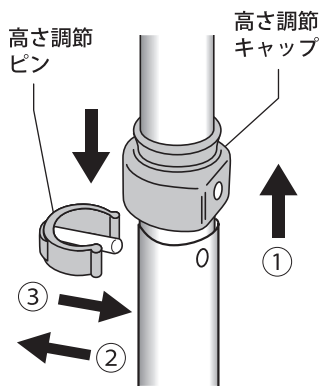
駐車用ストッパの操作方法



1. 駐車用ストッパレバーを後ろに引くと、後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパレバーを前に倒せばロックが解除されます。

- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態(後輪がロックされた状態)で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体からはなれる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けしないでください。

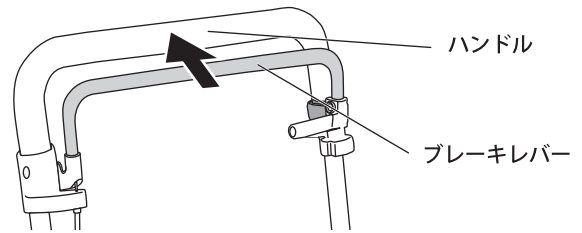
ハンドルの高さ調節



1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節ピンを抜いてください。
3. 4段階の中から、お好みの高さに合わせて、左右の高さ調節ピンをしっかりとはめこんでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

- 注**
- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。
 - 高さ調節を行うとき、高さ調節ピンを落とさないように注意してください。
 - ガタつきがないか確認してください。

ハンドブレーキの操作方法



ブレーキレバーを握れば、後輪にブレーキがかかります。

- 注**
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようにはきかないので過信しないでください。
 - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

ブレーキの調整方法

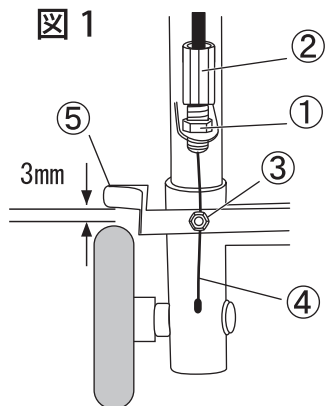
※出荷時にブレーキが十分にきく状態に調整しております。

※ブレーキの調整方法は2種類あり、図2の状態ではブレーキを緩めることはできません。

図2の状態から緩める場合は**ブレーキの調整方法2**を参照してください。

ブレーキの調整方法1

- ②を左方向に回し、図1を参照に⑤と車輪のすき間が3mm位になるように調整した後、①をプレートの下まで回し、しっかりと固定してください。(図4を参照)
- ※ ①が図2のようにプレートと密着していると②を回すことができません。図2のようになっているときは、①が図3のようにプレートから少し浮いている状態にしてください)
- 3mm位に調整した後でもブレーキのききが緩く感じるときは②を回して調節し、①をプレートの下まで回し、しっかりと固定してください。(図4を参照)



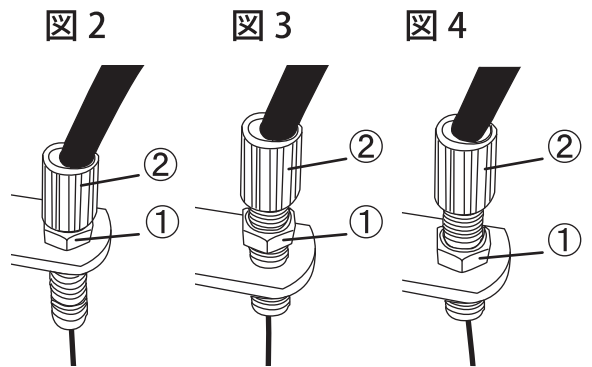
車輪と⑤のすき間がひろがります。

車輪と⑤のすき間が狭まります。

※車輪とのすき間がひろがっているほどブレーキが緩くなり、狭いほどブレーキがきつくなります。

ブレーキの調整方法2

- 左の方法で調整がきかない場合は②を図2の状態(①と②がプレートに密着している状態)に戻し、③をゆるめ、⑤と車輪の幅を図1の状態にし、④を下方向に引っ張り、③を締めてください。

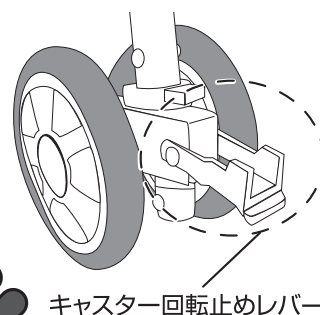
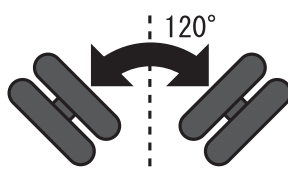


キャストターの操作方法

曲がる方向に力を入れれば左右各 60° の角度で車輪が方向転換します。

キャストター回転止めレバーを上げるとロックがかかります。(方向転換ができなくなります)

- 注**
- キャスター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。



腰掛け方



注

- 両側の固定用ロックが正常にかかっているか確認してお座りください。
- 必ず駐車用ストoppaをかけてからお座りください。
- 腰掛けるときは、均等に体重が加わるように座面の中央にお座りください。
- 浅く座ったり、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれる恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 100 kg です。体重が 100 kg を超える方はご使用になれません。

バッグの使い方

1. 座面前部を上へ持ち上げて開いてください。

注

- バッグには 10 kg を超える荷物を入れしないでください。
- バッグに荷物を入れたまま車体を折りたたまないでください。



傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き、固定してください。



故障かなと思ったら・・・

状 況	原 因	対 処 方 法
ハンドルがグラグラと動く	①左右の固定用ロックが確実にかかっていない ②ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	①両側の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください ②高さ調節ピンが、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストoppaが効かない	①駐車用ストoppaフレームのねじれ、曲がり ②バネの劣化 ③車輪の摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ	①駐車用ストoppaフレームのねじれ、曲がりを修正してください(弊社サービス係へ) ②バネの交換(弊社サービス係へ) ③車輪の交換(弊社サービス係へ) ④車輪の交換(弊社サービス係へ) ⑤潤滑油を注油する
ハンドブレーキが効かない	①車輪の摩耗 ②ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①車輪の交換(弊社サービス係へ) ②ブレーキワイヤーの交換(弊社サービス係へ)
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター(前輪)を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ②バネの交換(弊社サービス係へ)
固定用ロックがかからない	①固定用ロック部の変形 ②車体の歪み	弊社サービス係にて製品の修理またはパーツの交換を行います
その他、車輪の交換や車体の破損など		弊社サービス係にて製品の点検、修理またはパーツの交換を行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN VIETNAM 28.07 M(A.S)



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書